

(科目名) 京都学のための科学	(群) 拡大科目群 (系) 地域交流・貢献科目
(所属部局) 国際高等教育院 学際融合教育研究推進センター (職名) 教授 特定講師 (氏名) 小山田 耕二 久木元 伸如	(開講期) 前期 (授業形態) ゼミ形式授業 (対象回生) 主に 1・2 回生 (対象学生) 全学生
(授業の概要・目的) <p>本授業では、地域関係者へのヒアリングを通して、京都のかかえる課題を明らかにして、その課題を解決する方法をデザインする。デザインされた解決策をグローバルな視点も含めた形で評価し、その評価結果を反映させた解決策を当該地域関係者に提示して、その有効性について評価する。具体的には、今年 6 月に策定された「京都ビジョン 2040」の項目をあるべき姿として、現状とのギャップを明らかにし、そこで認識された課題に対して解決策をデザインし、その有効性を検討させる。</p>	
(授業計画と内容) <p>以下のような課題について授業を実施する。(各回 1・3 コマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 京都学「京都ビジョン」の理解。グループ討議による問題意識の洗い出しと共有。 2. 実証研究の進め方と科学論文の構成 (IMRAD)、社会調査の方法の学習。 3. テーマを具体化するための地域関係者による講義・討論。(25 年度調査で複数選出) 4. 情報収集 (地域関係者による講義、討論・学術論文の検索と評価) 5. 情報整理 (アンケート調査の実施：学生、自治体、地域住民、観光客など対象) 6. 情報分析・表現 (Excel を使った情報分析、Word を使った論文形式レポート作成、ピアレビュー、PowerPoint による発表) 7. 最終発表 (日本語による口頭発表、表彰) <p>(成績評価の方法・基準) 別途ホームページで指示する投稿規程・要領に従って執筆された研究成果レポートとグループディスカッションにおける積極性等を考慮して成績評価を行なう。</p>	
(履修要件) <p>インターネット、電子メール、ワープロ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトについて利用経験がある、もしくは授業期間内に自習できること</p>	
(教科書) <p>『研究ベース学習』(コロナ社) ISBN:139784339077933</p>	
(参考書) <p>授業中に指示</p>	